

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	仁科の郷伝統・歴史文化発信プロジェクト
事業主体 (連絡先)	仁科の郷イベント実行委員会 事務局 090-1546-4538 (担当:横澤)
事業区分	その他地域の元気を生み出さ地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,716,497円 (うち支援金:4,716,000円)

事業内容

1. 仁科氏歴史・文化展

式年正遷宮祭の前後に宮本公民館を会場として、開催の期間で「仁科氏歴史・文化展」を実施、紹介を行った。

以後、展示物については常設可能な展示場を確保して県内外から訪れる観光客に大町・北安曇の文化と自然について紹介する事を考える。

特に次世代を担う大北地区の小・中学生に、仁科氏文化を学習してもらおう場とした。

スケジュール : 令和元年11月9日(土曜日)
~ 17日(日曜日)

実施場所 : 大町市社(宮本公民館内)

来観者数 : 期間来場者実績 2,800人



【 仁科氏歴史史・文化展 】

2 大町・北安曇太鼓連 (9太鼓連)

「村祭り継承」

大北地区の太鼓連を一同にした太鼓演奏を社宮本に特設会場を設け行った。

また、同イベントに特別参加頂いたミュージシャン喜多郎のシンセサイザー&太鼓演奏が花を添える形で企画構成、実施した。

スケジュール :

第一部) 令和元年11月16日(土曜日)
16時30分 ~ 20時

第二部) 翌日 17日(日曜日)
13時 ~ 15時

実施場所 : 大町市社宮本(イベント特設会場)

来場者数 : 1,650人

内) 第一部(16日) 1,050人
第二部(17日) 600人



【 太鼓イベント 会場 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①市民の意識高揚を図る

多くの方に来観頂き、地元の歴史・文化（仁科氏）にふれて頂くことにより、地域の魅力を再認識頂く事ができた。

②地域外に大町の歴史・文化を発信

地域外から来観頂いた方にも、地域歴史・文化を築いた仁科氏を紹介する事で、国宝仁科神明宮を中心とした貴重な文化遺産が関心を示して頂く事ができた。

③太鼓文化の紹介

大町・大北太鼓連（6団体・9連）による太鼓演奏は、担い手不足の村祭りが形を変えて地域の祭り文化を支えている事を実感して頂いた。

また、ミュージシャン喜多郎と子供達の共演は、更なる地域の魅力創りや太鼓文化の意義を市民に理解頂く為の場として有意義であった。

④地域振興

当初計画（歴史・文化展 2,000→**2,800人**／太鼓演奏 1,000→**1,650人**）より多くの方に来場頂き、仁科神明宮発表による式年遷宮祭参拝者数 20,000人余りと相乗効果もあり、地域振興に大きく貢献。

【目標・ねらい】

- ①市内に点在する歴史遺産を一堂に会し紹介する事で市民の意識高揚を図る。
- ②大町市を訪れる地域外の方に大町の歴史文化を広く紹介する場とする。
- ③地域に根付いている太鼓文化を紹介する事で多くの方に活動を理解頂く。
- ④地域振興の一助となる場とする、

※自己評価【 A 】

【理由】

今回のイベント評価は訪れた人数が目標を上回ったかで判断した。結果として動員数は当初計画（歴史・文化展 2,000→2,800人／太鼓演奏 1,000→1,650人）を大きく上回る事ができた。また、イベントに訪れた方の反応も良く成功裏に終る事ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

実施した長野県発「元気づくり支援金」事業の成果品を有効的に活用すべく常設展示場の開設事業（仁科氏歴史・文化展）及び地域に点在する歴史遺産を深掘りすべく事業計画を立て実施する。

新たに仁科氏の歴史史跡である「木船山城」を保全する目的で活動を行うと同時に情報発信を行い、更なる魅力ある地域観光に着目する事で、観光事業の発展に資することを主な取り組みとする。

1. 仁科氏歴史・文化の常設展示の設営・整備運営
2. 新たな地域文化の創出事業（山城文化の調査研究・整備）
3. 大町市のインスタグラムの仕組みを活用による情報発信

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある